

2017年4月28日

京都府知事 山田啓二 様

高浜原発3,4号機の再稼働の中止を求める申し入れ

日本共産党京都府会議員団

団長 前窪義由紀

東日本大震災と福島第一原発事故から6年以上が経過したが、福島ではいまだに多くのみなさんがふるさとに帰れず、不自由な避難生活を余儀なくされている。原発と人類が共存できないことは明らかであり、どの世論調査でも原発再稼働に反対が多数である。それにもかかわらず、安倍政権は避難者への支援を次々と打ち切り、原発の再稼働を推進している。

そうしたもとの、3月28日、大阪高等裁判所が関西電力の抗告を認め、昨年3月の大津地方裁判所の決定を覆して、高浜原発3,4号機の運転再開を容認する決定を行なった。これを受けて、関西電力は4号機を来月早々にも再稼働させる工程を示したが、多くの府民から、再稼働は許せないという声があがっている。

山田知事は、「一昨年12月、私は避難計画の実効性の確保について国に努力を求め、放射性廃棄物の最終処理体制ができていない状況に対して深い懸念を表明しました。その時からこうした状況は変わっていない」と26日の記者会見で述べたが、再稼働に反対の意思は示していない。

ついでには、京都府民の命と安全を守る立場から、国と関西電力にたいして、高浜原発3,4号機の再稼働の中止を求めるよう、申し入れるものである。

以上